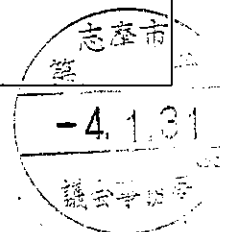


調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

令和 4年 1月 31日

志摩市議会議長 様

会 派 名	日本共産党	代表者氏名 森 光子
年 月 日	令和4年1月24(月)～1月26日(水)	
時 間	午前10時～13時 午後14時～17時	
参 考 者 氏 名	森 光子	
用 務 先	住 所	大阪市北区錦町2-2 国労会館 (ZOOM)
	名 称	大阪社会保障推進協議会
目 的 ・ 内 容	<p>新型コロナ禍のもとでの社会保障を学び考える全国地方議員 ZOOM セミナー 目的・・・コロナ禍のもとでの社会の状況を学び、課題や自治体の役割を学ぶ</p> <p>内容・・・</p> <p>1/24 午前 コロナ禍でのこどもを取り巻く現状と自治体のできること 午後 コロナ危機のもとでの介護の役割と課題を考える</p> <p>1/25 午前 困窮者のリアルと生活保護制度に求められるものはなにか 午後 深刻化する沖縄の若年ママたちの生活～二つの社会調査から</p> <p>1/26 午前 マイナンバーとデジタル庁は社会保障制度をどう変えるのか 午後 国民健康保険運営と2022年度の保険料率等の動向について</p>	



(現状や事業効果)

- 児童虐待・DVの状況がコロナ禍で浮き彫りになってきている。
- 母親の抱える育児不安【講師 辻・由起子さん（社会福祉士、保育士）の体験、社会の現実と自治体で出来ること】
 - ・18歳で妊娠、19歳で出産 夫は働かない、暴力をふるう
 - どのようにして子育てをするのか、どうやって生活するのかの知識がまったくないという状況もある。
 - ・23歳でシングルマザー正社員になったら単身者と同じ働き方となり、子育てをする時間も無くなる、熱が出て休めず、娘は不登校になる
- 支援が必要な人に届かない
 - ・どこに相談したらよいかわからない。
 - ・物理的に相談できない。(時間・距離・交通費)
 - ・行政も次々制度が変わるのでパニック。
 - ・難しい説明をされても行政用語がわからない。
 - ・傾聴だけされて解決に至らない。
 - ・公的支援につながらない。あきらめ。
- 受援力をつける
 - 他者に助けを求める力、快くサポートを受け止める力
- 児童虐待・貧困の連鎖を断ち切る。大阪で始まった「性・生教育事業」

成果・所感

当事者の話や事例の提供が豊かで、リアルに現実の社会状況を学ぶ事が出来た。
コロナ禍で子どもや女性の貧困が浮き彫りになっていること。
個人の問題として見るのではなく社会の問題として捉えることが大切。

(本市に導入できること)

- ・いのちの授業を取り組んでいる団体があるが市の事業として位置付ける重要性がある。
- ・児童虐待・貧困の連鎖を断ち切るためにも「性・生教育授業」は教育現場でも大人対象にも導入していくと良いと思う。

(本市に導入した場合の課題)

担当課や地域、団体との協力・連携

(今後の検討)

マイナンバー、デジタル庁と社会保障制度について、国民健康保険について学習を深めてから提案していきたい。